

# 土木事業委託積算基準 の 改定・追加・訂正

適用年月日（令和5年（2023年）4月1日以降積算基準日適用）

区分	ページ	正	誤	備考																																																																																				
設計編 〔2〕道路設計 1. 道路設計 1-4 道路詳細設計 1-4-1 作業区分	設道路-15	<table border="1"> <tr> <td>数量計算</td> <td>数量計算は「土木工事数量算出要領」により行うものとし、算出した結果は工種別、区間別にまとめる。</td> </tr> <tr> <td>概算工事費</td> <td>調査職員と協議した単価と設計図や数量計算等により算出した数量から、概算工事費を算定する。なお、概算用地補償費も含めて算定する。</td> </tr> <tr> <td>照査</td> <td>以下に示す事項を標準として照査を行う。 ①基本条件の決定に際し、現地の状況の他、基礎情報を収集、把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるかについて照査を行う。特に地形、地質条件、土地利用、周辺整備などについては、設計の目的に対応した情報が得られているかの確認を行う。 ②設計条件及び現地条件など、基本事項の整理が終了した段階での照査。また、地形、地質、土地利用、周辺整備などが設計に反映されているかの確認を行う。 ③「詳細設計照査要領（北海道建設部版）」に基づき、詳細設計に必要な設計細部条件の検討・整理結果及び主要計画図について照査を行う。 ④設計図・数量の正確性、適切性及び整合性に着目し照査を行う。</td> </tr> </table>	数量計算	数量計算は「土木工事数量算出要領」により行うものとし、算出した結果は工種別、区間別にまとめる。	概算工事費	調査職員と協議した単価と設計図や数量計算等により算出した数量から、概算工事費を算定する。なお、概算用地補償費も含めて算定する。	照査	以下に示す事項を標準として照査を行う。 ①基本条件の決定に際し、現地の状況の他、基礎情報を収集、把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるかについて照査を行う。特に地形、地質条件、土地利用、周辺整備などについては、設計の目的に対応した情報が得られているかの確認を行う。 ②設計条件及び現地条件など、基本事項の整理が終了した段階での照査。また、地形、地質、土地利用、周辺整備などが設計に反映されているかの確認を行う。 ③「詳細設計照査要領（北海道建設部版）」に基づき、詳細設計に必要な設計細部条件の検討・整理結果及び主要計画図について照査を行う。 ④設計図・数量の正確性、適切性及び整合性に着目し照査を行う。	<table border="1"> <tr> <td>数量計算</td> <td>数量計算は「土木工事数量算出要領」により行うものとし、算出した結果は工種別、区間別にまとめる。</td> </tr> <tr> <td>概算工事費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>照査</td> <td>以下に示す事項を標準として照査を行う。 ①基本条件の決定に際し、現地の状況の他、基礎情報を収集、把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるかについて照査を行う。特に地形、地質条件、土地利用、周辺整備などについては、設計の目的に対応した情報が得られているかの確認を行う。 ②設計条件及び現地条件など、基本事項の整理が終了した段階での照査。また、地形、地質、土地利用、周辺整備などが設計に反映されているかの確認を行う。 ③「詳細設計照査要領（北海道建設部版）」に基づき、詳細設計に必要な設計細部条件の検討・整理結果及び主要計画図について照査を行う。 ④設計図・数量の正確性、適切性及び整合性に着目し照査を行う。</td> </tr> </table>	数量計算	数量計算は「土木工事数量算出要領」により行うものとし、算出した結果は工種別、区間別にまとめる。	概算工事費		照査	以下に示す事項を標準として照査を行う。 ①基本条件の決定に際し、現地の状況の他、基礎情報を収集、把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるかについて照査を行う。特に地形、地質条件、土地利用、周辺整備などについては、設計の目的に対応した情報が得られているかの確認を行う。 ②設計条件及び現地条件など、基本事項の整理が終了した段階での照査。また、地形、地質、土地利用、周辺整備などが設計に反映されているかの確認を行う。 ③「詳細設計照査要領（北海道建設部版）」に基づき、詳細設計に必要な設計細部条件の検討・整理結果及び主要計画図について照査を行う。 ④設計図・数量の正確性、適切性及び整合性に着目し照査を行う。	項目の追加																																																																								
数量計算	数量計算は「土木工事数量算出要領」により行うものとし、算出した結果は工種別、区間別にまとめる。																																																																																							
概算工事費	調査職員と協議した単価と設計図や数量計算等により算出した数量から、概算工事費を算定する。なお、概算用地補償費も含めて算定する。																																																																																							
照査	以下に示す事項を標準として照査を行う。 ①基本条件の決定に際し、現地の状況の他、基礎情報を収集、把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるかについて照査を行う。特に地形、地質条件、土地利用、周辺整備などについては、設計の目的に対応した情報が得られているかの確認を行う。 ②設計条件及び現地条件など、基本事項の整理が終了した段階での照査。また、地形、地質、土地利用、周辺整備などが設計に反映されているかの確認を行う。 ③「詳細設計照査要領（北海道建設部版）」に基づき、詳細設計に必要な設計細部条件の検討・整理結果及び主要計画図について照査を行う。 ④設計図・数量の正確性、適切性及び整合性に着目し照査を行う。																																																																																							
数量計算	数量計算は「土木工事数量算出要領」により行うものとし、算出した結果は工種別、区間別にまとめる。																																																																																							
概算工事費																																																																																								
照査	以下に示す事項を標準として照査を行う。 ①基本条件の決定に際し、現地の状況の他、基礎情報を収集、把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるかについて照査を行う。特に地形、地質条件、土地利用、周辺整備などについては、設計の目的に対応した情報が得られているかの確認を行う。 ②設計条件及び現地条件など、基本事項の整理が終了した段階での照査。また、地形、地質、土地利用、周辺整備などが設計に反映されているかの確認を行う。 ③「詳細設計照査要領（北海道建設部版）」に基づき、詳細設計に必要な設計細部条件の検討・整理結果及び主要計画図について照査を行う。 ④設計図・数量の正確性、適切性及び整合性に着目し照査を行う。																																																																																							
設計編 〔2〕道路設計 1. 道路設計 1-4 道路詳細設計 1-4-2 道路詳細設計(A)	設道路-17	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">施工単価コード</td> <td colspan="4">DXC14001</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(予備設計あり)</td> <td colspan="7">(1業務当り)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">区分</td> <td>職 種</td> <td colspan="6">直 接 人 件 費</td> </tr> <tr> <td>概 算 工 事 費</td> <td>主 任 技 術 者</td> <td>技 師 長</td> <td>主 任 技 術 師</td> <td>技 術 師 (A)</td> <td>技 術 師 (B)</td> <td>技 術 師 (C)</td> <td>技 術 員</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2.5</td> <td>4.0</td> <td>3.0</td> <td>4.5</td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) 1. 見積必要品目がある場合は、実施時点での見積徴収作業を含む。 2. 電子計算機使用料は、直接経費として直接人件費の2%を計上する。 3. 1-4-4. 標準歩掛表の補正は適用しない。</p>			施工単価コード		DXC14001				(予備設計あり)		(1業務当り)							区分	職 種	直 接 人 件 費						概 算 工 事 費	主 任 技 術 者	技 師 長	主 任 技 術 師	技 術 師 (A)	技 術 師 (B)	技 術 師 (C)	技 術 員					2.5	4.0	3.0	4.5		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">区分</td> <td>職 種</td> <td colspan="6">直 接 人 件 費</td> </tr> <tr> <td>概 算 工 事 費</td> <td>主 任 技 術 者</td> <td>技 師 長</td> <td>主 任 技 術 師</td> <td>技 術 師 (A)</td> <td>技 術 師 (B)</td> <td>技 術 師 (C)</td> <td>技 術 員</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>																		区分	職 種	直 接 人 件 費						概 算 工 事 費	主 任 技 術 者	技 師 長	主 任 技 術 師	技 術 師 (A)	技 術 師 (B)	技 術 師 (C)	技 術 員										新規歩掛の追加
		施工単価コード		DXC14001																																																																																				
(予備設計あり)		(1業務当り)																																																																																						
区分	職 種	直 接 人 件 費																																																																																						
	概 算 工 事 費	主 任 技 術 者	技 師 長	主 任 技 術 師	技 術 師 (A)	技 術 師 (B)	技 術 師 (C)	技 術 員																																																																																
				2.5	4.0	3.0	4.5																																																																																	
区分	職 種	直 接 人 件 費																																																																																						
	概 算 工 事 費	主 任 技 術 者	技 師 長	主 任 技 術 師	技 術 師 (A)	技 術 師 (B)	技 術 師 (C)	技 術 員																																																																																

# 土木事業委託積算基準の 改定・追加・訂正

適用年月日（令和5年（2023年）4月1日以降積算基準日適用）

区分	ページ	正	誤	備考																																												
設計編 〔2〕道路設計 1. 道路設計 1-4 道路詳細設計 1-4-4 標準歩掛表の補正	設道路-18	<p>1-4-4 標準歩掛表の補正（詳細A、B）<u>（ただし、詳細Aの概算工事費算出には適用しない。）</u></p> <p>（1）地形により下表で割増するものとする。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>地</th> <th>形</th> <th>割増し率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平</td><td>地</td><td>0%</td></tr> <tr><td>丘</td><td>陸地</td><td>10%</td></tr> <tr><td>山</td><td>地</td><td>15%</td></tr> <tr><td>市</td><td>街地</td><td>20%</td></tr> <tr><td>急</td><td>峻山地</td><td>30%</td></tr> </tbody> </table>	地	形	割増し率	平	地	0%	丘	陸地	10%	山	地	15%	市	街地	20%	急	峻山地	30%	<p>1-4-4 標準歩掛表の補正（詳細A、B）<u>（ただし、詳細Aの概算工事費算出には適用しない。）</u></p> <p>（1）地形により下表で割増するものとする。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>地</th> <th>形</th> <th>割増し率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平</td><td>地</td><td>0%</td></tr> <tr><td>丘</td><td>陸地</td><td>10%</td></tr> <tr><td>山</td><td>地</td><td>15%</td></tr> <tr><td>市</td><td>街地</td><td>20%</td></tr> <tr><td>急</td><td>峻山地</td><td>30%</td></tr> </tbody> </table>	地	形	割増し率	平	地	0%	丘	陸地	10%	山	地	15%	市	街地	20%	急	峻山地	30%	記述の追加								
地	形	割増し率																																														
平	地	0%																																														
丘	陸地	10%																																														
山	地	15%																																														
市	街地	20%																																														
急	峻山地	30%																																														
地	形	割増し率																																														
平	地	0%																																														
丘	陸地	10%																																														
山	地	15%																																														
市	街地	20%																																														
急	峻山地	30%																																														
調査設計編 〔2〕道路調査 8. 橋梁補修設計 8-17 概算工事費算出	計道調-87	<p><u>8-17 概算工事費算出</u></p> <p><u>8-17-1 適用範囲</u> 設計図や数量等に基づく概算工事費の算出に適用する。</p> <p><u>8-17-2 作業項目</u> 概算工事費算出</p> <p><u>8-17-3 標準歩掛</u> 902-817-01 概算工事費算出</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="width: 150px;"></td> <td style="width: 100px;">施工準備コード</td> <td style="width: 100px;">DX034141</td> </tr> </table> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="4">直 接 人 件 費</th> </tr> <tr> <th>主任技師</th> <th>技師(A)</th> <th>技師(B)</th> <th>技師(C)</th> <th>技師員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>概算工事費算出</td> <td>1</td> <td>橋</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td>2.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>（注）1. 見積必要品目がある場合は、実施時点での見積徴収作業を含む。 2. 電子計算機使用料は、直接経費として直接人件費の2%を計上する。</p>		施工準備コード	DX034141	区 分	数 量	単 位	直 接 人 件 費				主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技師員	概算工事費算出	1	橋	0.5	1.0	2.0	2.5	<p><u>8-17 概算工事費算出</u></p> <p><u>8-17-1 適用範囲</u></p> <p><u>8-17-2 作業項目</u></p> <p><u>8-17-3 標準歩掛</u></p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="width: 150px;"></td> <td style="width: 100px;">施工準備コード</td> <td style="width: 100px;">DX034141</td> </tr> </table> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="4">直 接 人 件 費</th> </tr> <tr> <th>主任技師</th> <th>技師(A)</th> <th>技師(B)</th> <th>技師(C)</th> <th>技師員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>概算工事費算出</td> <td>1</td> <td>橋</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td>2.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>（注）1. 見積必要品目がある場合は、実施時点での見積徴収作業を含む。 2. 電子計算機使用料は、直接経費として直接人件費の2%を計上する。</p>		施工準備コード	DX034141	区 分	数 量	単 位	直 接 人 件 費				主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技師員	概算工事費算出	1	橋	0.5	1.0	2.0	2.5	新規歩掛の追加
	施工準備コード	DX034141																																														
区 分	数 量	単 位	直 接 人 件 費																																													
			主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技師員																																									
概算工事費算出	1	橋	0.5	1.0	2.0	2.5																																										
	施工準備コード	DX034141																																														
区 分	数 量	単 位	直 接 人 件 費																																													
			主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技師員																																									
概算工事費算出	1	橋	0.5	1.0	2.0	2.5																																										

# 漁港関係工事積算基準 の 改定・追加・訂正

適用年月日  
(令和5年(2023年)4月1日以降積算基準日適用)

区分	ページ	現 行	改 定	備 考																																																																																																																												
第2部 漁港関係工 事積算基準 標準歩掛  第4章 業務委託の 施工歩掛  1400 設計業務 積算基準	設計-33  運用資料-5 実施設計  1 防波堤 実施設計	運用資料-5 実施設計 共通事項 事務用品費 事務用品費は、直接人件費の1.0%を標準とする。(ただし、照査、設計協議の人件費は除く) 報告書 報告書の電子納品及び印刷・製本に要する費用は、下記の式により算出する。 ただし、印刷・製本部数は3部までとし、これにより難しい場合は別途見積等により考慮する。 $\text{業務成果品費} = \text{直接人件費} \times \{2.9\% + (\text{印刷製本部数} \times 0.6\%)\}$ なお、業務成果品費は、有効数字上位2桁、以下切り捨てとし、最高30万円を限度とする。 1 防波堤実施設計 1-1 適用範囲 漁港関係工事に係る防波堤実施設計業務に適用する。 1-2 作業区分	運用資料-5 実施設計 共通事項 事務用品費 事務用品費は、直接人件費の1.0%を標準とする。(ただし、照査、設計協議の人件費は除く) 報告書 報告書の電子納品及び印刷・製本に要する費用は、下記の式により算出する。 ただし、印刷・製本部数は3部までとし、これにより難しい場合は別途見積等により考慮する。 $\text{業務成果品費} = \text{直接人件費} \times \{2.9\% + (\text{印刷製本部数} \times 0.6\%)\}$ なお、業務成果品費は、有効数字上位2桁、以下切り捨てとし、最高30万円を限度とする。 1 防波堤実施設計 1-1 適用範囲 漁港関係工事に係る防波堤実施設計業務に適用する。 1-2 作業区分	参照先修正 (土木+漁港)  「概算工事費 算出」の追加  誤字修正																																																																																																																												
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">名 称</th> <th style="width: 90%;">業 務 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計計画</td> <td>設計にあたり、事前に業務の目的・内容を把握し業務の手順及び遂行に必要な計画を立案する。 また、業務内容を確認の上、①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画⑤打合せ計画、⑥成果品の内容、部数、⑦使用する主な図書及び基準、⑧連絡体制(緊急時を含む)、⑨照査計画、⑩その他、について記載した業務計画書を作成する。</td> </tr> <tr> <td>設計図作成</td> <td>平面図、縦断面図、標準断面図、横断面図、構造詳細図(詳細図)、防舷材等の参考図を作成する。</td> </tr> <tr> <td>数量計算</td> <td>土木工事工種体系化の手引き及び数量算出要領に基づき、工種種別、細目、規格、積算条件別に数量を算出し、数量計算書に算出根拠及び算出結果を記載する。</td> </tr> <tr> <td>報告書作成</td> <td>業務の成果として、設計図面、数量計算書に準じて作成する。</td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td>下記に示す事項を標準として照査を行う。 ①基本設計や細部設計の整合性について照査を行う。 ②実施設計図面および数量計算書の適切性・整合性について照査を行う。</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	業 務 内 容	設計計画	設計にあたり、事前に業務の目的・内容を把握し業務の手順及び遂行に必要な計画を立案する。 また、業務内容を確認の上、①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画⑤打合せ計画、⑥成果品の内容、部数、⑦使用する主な図書及び基準、⑧連絡体制(緊急時を含む)、⑨照査計画、⑩その他、について記載した業務計画書を作成する。	設計図作成	平面図、縦断面図、標準断面図、横断面図、構造詳細図(詳細図)、防舷材等の参考図を作成する。	数量計算	土木工事工種体系化の手引き及び数量算出要領に基づき、工種種別、細目、規格、積算条件別に数量を算出し、数量計算書に算出根拠及び算出結果を記載する。	報告書作成	業務の成果として、設計図面、数量計算書に準じて作成する。	照 査	下記に示す事項を標準として照査を行う。 ①基本設計や細部設計の整合性について照査を行う。 ②実施設計図面および数量計算書の適切性・整合性について照査を行う。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">名称</th> <th style="width: 90%;">業務内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計計画</td> <td>設計にあたり、事前に業務の目的・内容を把握し業務の手順及び遂行に必要な計画を立案する。 また、業務内容を確認の上、①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画⑤打合せ計画、⑥成果品の内容、部数、⑦使用する主な図書及び基準、⑧連絡体制(緊急時を含む)、⑨照査計画、⑩その他、について記載した業務計画書を作成する。</td> </tr> <tr> <td>設計図作成</td> <td>平面図、縦断面図、標準断面図、横断面図、構造詳細図(詳細図)、防舷材等の参考図を作成する。</td> </tr> <tr> <td>数量計算</td> <td><u>工種体系化</u>の手引き及び数量算出要領に基づき、工種種別、細目、規格、積算条件別に数量を算出し、数量計算書に算出根拠及び算出結果を記載する。</td> </tr> <tr> <td><u>概算工事費算出</u></td> <td><u>作成された設計図や数量調査等から概算工事費を算出する。</u></td> </tr> <tr> <td>報告書作成</td> <td>業務の成果として、設計図面、数量計算書に準じて作成する。</td> </tr> <tr> <td>照査</td> <td>下記に示す事項を標準として照査を行う。 ①基本設計や細部設計の整合性について照査を行う。 ②実施設計図面および数量計算書の適切性・整合性について照査を行う。</td> </tr> </tbody> </table>	名称	業務内容	設計計画	設計にあたり、事前に業務の目的・内容を把握し業務の手順及び遂行に必要な計画を立案する。 また、業務内容を確認の上、①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画⑤打合せ計画、⑥成果品の内容、部数、⑦使用する主な図書及び基準、⑧連絡体制(緊急時を含む)、⑨照査計画、⑩その他、について記載した業務計画書を作成する。	設計図作成	平面図、縦断面図、標準断面図、横断面図、構造詳細図(詳細図)、防舷材等の参考図を作成する。	数量計算	<u>工種体系化</u> の手引き及び数量算出要領に基づき、工種種別、細目、規格、積算条件別に数量を算出し、数量計算書に算出根拠及び算出結果を記載する。	<u>概算工事費算出</u>	<u>作成された設計図や数量調査等から概算工事費を算出する。</u>	報告書作成	業務の成果として、設計図面、数量計算書に準じて作成する。	照査	下記に示す事項を標準として照査を行う。 ①基本設計や細部設計の整合性について照査を行う。 ②実施設計図面および数量計算書の適切性・整合性について照査を行う。																																																																																																			
名 称	業 務 内 容																																																																																																																															
設計計画	設計にあたり、事前に業務の目的・内容を把握し業務の手順及び遂行に必要な計画を立案する。 また、業務内容を確認の上、①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画⑤打合せ計画、⑥成果品の内容、部数、⑦使用する主な図書及び基準、⑧連絡体制(緊急時を含む)、⑨照査計画、⑩その他、について記載した業務計画書を作成する。																																																																																																																															
設計図作成	平面図、縦断面図、標準断面図、横断面図、構造詳細図(詳細図)、防舷材等の参考図を作成する。																																																																																																																															
数量計算	土木工事工種体系化の手引き及び数量算出要領に基づき、工種種別、細目、規格、積算条件別に数量を算出し、数量計算書に算出根拠及び算出結果を記載する。																																																																																																																															
報告書作成	業務の成果として、設計図面、数量計算書に準じて作成する。																																																																																																																															
照 査	下記に示す事項を標準として照査を行う。 ①基本設計や細部設計の整合性について照査を行う。 ②実施設計図面および数量計算書の適切性・整合性について照査を行う。																																																																																																																															
名称	業務内容																																																																																																																															
設計計画	設計にあたり、事前に業務の目的・内容を把握し業務の手順及び遂行に必要な計画を立案する。 また、業務内容を確認の上、①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画⑤打合せ計画、⑥成果品の内容、部数、⑦使用する主な図書及び基準、⑧連絡体制(緊急時を含む)、⑨照査計画、⑩その他、について記載した業務計画書を作成する。																																																																																																																															
設計図作成	平面図、縦断面図、標準断面図、横断面図、構造詳細図(詳細図)、防舷材等の参考図を作成する。																																																																																																																															
数量計算	<u>工種体系化</u> の手引き及び数量算出要領に基づき、工種種別、細目、規格、積算条件別に数量を算出し、数量計算書に算出根拠及び算出結果を記載する。																																																																																																																															
<u>概算工事費算出</u>	<u>作成された設計図や数量調査等から概算工事費を算出する。</u>																																																																																																																															
報告書作成	業務の成果として、設計図面、数量計算書に準じて作成する。																																																																																																																															
照査	下記に示す事項を標準として照査を行う。 ①基本設計や細部設計の整合性について照査を行う。 ②実施設計図面および数量計算書の適切性・整合性について照査を行う。																																																																																																																															
		1-3 標準歩掛 防波堤実施設計(1施設当たり) 【DHE48001 ~ DHE48005】	1-3 標準歩掛 防波堤実施設計(1施設当たり) 【DHE48001 ~ DHE48005】																																																																																																																													
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 10%;">業務区分</th> <th colspan="5" style="width: 70%;">直 接 人 件 費</th> <th rowspan="2" style="width: 15%;">摘 要</th> </tr> <tr> <th style="width: 10%;">主任技師</th> <th style="width: 10%;">技師(A)</th> <th style="width: 10%;">技師(B)</th> <th style="width: 10%;">技師(C)</th> <th style="width: 10%;">技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計計画</td> <td>0.6</td> <td>0.7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設計図作成</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.2</td> <td>1.2</td> <td>平面図、縦断面図、標準断面図、取付等の詳細図等</td> </tr> <tr> <td>数量計算</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.4</td> <td>1.4</td> <td>計算図(横断面図等)を含む</td> </tr> <tr> <td><u>概算工事費算出</u></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td><u>1.0</u></td> <td><u>2.0</u></td> <td><u>4.0</u></td> <td><u>【DHE47001】</u></td> </tr> <tr> <td>報告書作成</td> <td></td> <td></td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td></td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td><u>0.6</u></td> <td><u>1.3</u></td> <td><u>1.0</u></td> <td><u>3.0</u></td> <td><u>2.6</u></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	業務区分	直 接 人 件 費					摘 要	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	設計計画	0.6	0.7					設計図作成				1.2	1.2	平面図、縦断面図、標準断面図、取付等の詳細図等	数量計算				1.4	1.4	計算図(横断面図等)を含む	<u>概算工事費算出</u>				<u>1.0</u>	<u>2.0</u>	<u>4.0</u>	<u>【DHE47001】</u>	報告書作成			0.4	0.4			照 査		0.6	0.6				計	<u>0.6</u>	<u>1.3</u>	<u>1.0</u>	<u>3.0</u>	<u>2.6</u>		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 10%;">業務区分</th> <th colspan="5" style="width: 70%;">直 接 人 件 費</th> <th rowspan="2" style="width: 15%;">摘 要</th> </tr> <tr> <th style="width: 10%;">主任技師</th> <th style="width: 10%;">技師(A)</th> <th style="width: 10%;">技師(B)</th> <th style="width: 10%;">技師(C)</th> <th style="width: 10%;">技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計計画</td> <td>0.6</td> <td>0.7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設計図作成</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.2</td> <td>1.2</td> <td>平面図、縦断面図、標準断面図、取付等の詳細図等</td> </tr> <tr> <td>数量計算</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.4</td> <td>1.4</td> <td>計算図(横断面図等)を含む</td> </tr> <tr> <td><u>概算工事費算出</u></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td><u>1.0</u></td> <td><u>2.0</u></td> <td><u>4.0</u></td> <td><u>【DHE47001】</u></td> </tr> <tr> <td>報告書作成</td> <td></td> <td></td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>照査</td> <td></td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td><u>0.6</u></td> <td><u>1.3</u></td> <td><u>2.0</u></td> <td><u>5.0</u></td> <td><u>6.6</u></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	業務区分	直 接 人 件 費					摘 要	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	設計計画	0.6	0.7					設計図作成				1.2	1.2	平面図、縦断面図、標準断面図、取付等の詳細図等	数量計算				1.4	1.4	計算図(横断面図等)を含む	<u>概算工事費算出</u>				<u>1.0</u>	<u>2.0</u>	<u>4.0</u>	<u>【DHE47001】</u>	報告書作成			0.4	0.4			照査		0.6	0.6				計	<u>0.6</u>	<u>1.3</u>	<u>2.0</u>	<u>5.0</u>	<u>6.6</u>		
業務区分	直 接 人 件 費					摘 要																																																																																																																										
	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員																																																																																																																											
設計計画	0.6	0.7																																																																																																																														
設計図作成				1.2	1.2	平面図、縦断面図、標準断面図、取付等の詳細図等																																																																																																																										
数量計算				1.4	1.4	計算図(横断面図等)を含む																																																																																																																										
<u>概算工事費算出</u>				<u>1.0</u>	<u>2.0</u>	<u>4.0</u>	<u>【DHE47001】</u>																																																																																																																									
報告書作成			0.4	0.4																																																																																																																												
照 査		0.6	0.6																																																																																																																													
計	<u>0.6</u>	<u>1.3</u>	<u>1.0</u>	<u>3.0</u>	<u>2.6</u>																																																																																																																											
業務区分	直 接 人 件 費					摘 要																																																																																																																										
	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員																																																																																																																											
設計計画	0.6	0.7																																																																																																																														
設計図作成				1.2	1.2	平面図、縦断面図、標準断面図、取付等の詳細図等																																																																																																																										
数量計算				1.4	1.4	計算図(横断面図等)を含む																																																																																																																										
<u>概算工事費算出</u>				<u>1.0</u>	<u>2.0</u>	<u>4.0</u>	<u>【DHE47001】</u>																																																																																																																									
報告書作成			0.4	0.4																																																																																																																												
照査		0.6	0.6																																																																																																																													
計	<u>0.6</u>	<u>1.3</u>	<u>2.0</u>	<u>5.0</u>	<u>6.6</u>																																																																																																																											
		(注) 1.本歩掛は施設別に適用する。但し、船揚場袖護岸及び撤去施設(消波ブロック除去含む)の箇所は1施設とみなすことができる。 2.本歩掛は設計の内容に応じ、1-4に示す方法により補正する。(設計図作成、数量計算以外は、補正係数(1)のみ)	(注) 1.本歩掛は施設別に適用する。但し、船揚場袖護岸及び撤去施設(消波ブロック除去含む)の箇所は1施設とみなすことができる。 2.本歩掛は設計の内容に応じ、1-4に示す方法により補正する。 ( <u>概算工事費算出は補正しない。設計計画、報告書作成、照査は、補正係数(1)のみ</u> )																																																																																																																													
		設計-33	設計-33																																																																																																																													

# 漁港関係工事積算基準 の 改定・追加・訂正

適用年月日  
(令和5年(2023年)4月1日以降積算基準日適用)

区分	ページ	現 行	改 定	備 考																																																																																																																																																																									
第2部 漁港関係工 事積算基準 標準歩掛  第4章 業務委託の 施工歩掛  1400 設計業務 積算基準	設計-35  運用資料-5 実施設計  2 護岸 実施設計	2 護岸実施設計 2-1 適用範囲 漁港関係工事に係る護岸実施設計業務に適用する。 2-2 作業区分 1-2 防波堤実施設計の作業区分を参照 2-3 標準歩掛 護岸実施設計(1施設当り) 【DHE50501～DHE50505】	2 護岸実施設計 2-1 適用範囲 漁港関係工事に係る護岸実施設計業務に適用する。 2-2 作業区分 1-2 防波堤実施設計の作業区分を参照 2-3 標準歩掛 護岸実施設計(1施設当り) 【DHE50501～DHE50505】	「概算工事費 算出」の追加																																																																																																																																																																									
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">業務区分</th> <th colspan="5">直接人件費</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>主任技師</th> <th>技師(A)</th> <th>技師(B)</th> <th>技師(C)</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計計画</td> <td>0.6</td> <td>0.7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設計図作成</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.2</td> <td>1.2</td> <td>平面図、縦断面図、標準断面図、取付等の詳細図等</td> </tr> <tr> <td>数量計算</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.4</td> <td>1.4</td> <td>計算図(横断面図等)を含む</td> </tr> <tr> <td>報告書作成</td> <td></td> <td></td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td></td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0.6</td> <td>1.3</td> <td>1.0</td> <td>3.0</td> <td>2.6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1.本歩掛は施設別に適用する。但し、船揚場袖護岸及び撤去施設(消波ブロック除去含む)の箇所は1施設とみなすことができる。                      2.本歩掛は設計の内容に応じ、2-4に示す方法により補正する。(設計図作成、数量計算以外は、補正係数(1)のみ)                      2-4 標準歩掛の補正                          次に示す(1)、(2)、(3)、(4)、(5)、に該当する係数を次式に代入して得た補正率を基準歩掛の職種別歩掛の計に乗じて補正する。                          補正率=(1)×(2)×(3)+(4)+(5)                          補正率は、小数2位を四捨五入し、小数1位止めとする。                      (1)構造形式によって決まる係数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>施設区分</th> <th>構 造 形 式</th> <th>係 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="15">護岸等</td><td>直立堤(消波工無)</td><td>0.7</td></tr> <tr><td>直立堤(消波工有)</td><td>0.9</td></tr> <tr><td>直立堤(直立消波・スリット式・多孔式ケーソン構造)</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>混成堤(消波工無)</td><td>0.9</td></tr> <tr><td>混成堤(消波工有)</td><td>1.1</td></tr> <tr><td>混成堤(直立消波・スリット式・多孔式ケーソン構造)</td><td>1.2</td></tr> <tr><td>矢板・セル構造(消波工無)</td><td>1.1</td></tr> <tr><td>矢板・セル構造(消波工有)</td><td>1.3</td></tr> <tr><td>鋼製函式直立堤(消波工無)</td><td>0.9</td></tr> <tr><td>鋼製函式直立堤(消波工有)</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>鋼製函式混成堤(消波工無)</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>鋼製函式混成堤(消波工有)</td><td>1.2</td></tr> </tbody> </table>	業務区分		直接人件費					摘 要	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	設計計画	0.6	0.7					設計図作成				1.2	1.2	平面図、縦断面図、標準断面図、取付等の詳細図等	数量計算				1.4	1.4	計算図(横断面図等)を含む	報告書作成			0.4	0.4			照 査		0.6	0.6				計	0.6	1.3	1.0	3.0	2.6		施設区分	構 造 形 式	係 数	護岸等	直立堤(消波工無)	0.7	直立堤(消波工有)	0.9	直立堤(直立消波・スリット式・多孔式ケーソン構造)	1.0	混成堤(消波工無)	0.9	混成堤(消波工有)	1.1	混成堤(直立消波・スリット式・多孔式ケーソン構造)	1.2	矢板・セル構造(消波工無)	1.1	矢板・セル構造(消波工有)	1.3	鋼製函式直立堤(消波工無)	0.9	鋼製函式直立堤(消波工有)	1.0	鋼製函式混成堤(消波工無)	1.0	鋼製函式混成堤(消波工有)	1.2	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">業務区分</th> <th colspan="5">直接人件費</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>主任技師</th> <th>技師(A)</th> <th>技師(B)</th> <th>技師(C)</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計計画</td> <td>0.6</td> <td>0.7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設計図作成</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.2</td> <td>1.2</td> <td>平面図、縦断面図、標準断面図、取付等の詳細図等</td> </tr> <tr> <td>数量計算</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.4</td> <td>1.4</td> <td>計算図(横断面図等)を含む</td> </tr> <tr> <td>概算工事費算出</td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td>4.0</td> <td>【DHE47001】</td> </tr> <tr> <td>報告書作成</td> <td></td> <td></td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td></td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0.6</td> <td>1.3</td> <td>2.0</td> <td>5.0</td> <td>6.6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1.本歩掛は施設別に適用する。但し、船揚場袖護岸及び撤去施設(消波ブロック除去含む)の箇所は1施設とみなすことができる。                      2.本歩掛は設計の内容に応じ、2-4に示す方法により補正する。                          (概算工事費算出は補正しない。設計計画、報告書作成、照査は、補正係数(1)のみ)                      2-4 標準歩掛の補正                          次に示す(1)、(2)、(3)、(4)、(5)に該当する係数を次式に代入して得た補正率を基準歩掛の職種別歩掛の計に乗じて補正する。                          補正率=(1)×(2)×(3)+(4)+(5)                          補正率は、小数2位を四捨五入し、小数1位止めとする。                      (1)構造形式によって決まる係数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>施設区分</th> <th>構造形式</th> <th>係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="13">護岸等</td><td>直立堤(消波工無)</td><td>0.7</td></tr> <tr><td>直立堤(消波工有)</td><td>0.9</td></tr> <tr><td>直立堤(直立消波・スリット式・多孔式ケーソン構造)</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>混成堤(消波工無)</td><td>0.9</td></tr> <tr><td>混成堤(消波工有)</td><td>1.1</td></tr> <tr><td>混成堤(直立消波・スリット式・多孔式ケーソン構造)</td><td>1.2</td></tr> <tr><td>矢板・セル構造(消波工無)</td><td>1.1</td></tr> <tr><td>矢板・セル構造(消波工有)</td><td>1.3</td></tr> <tr><td>鋼製函式直立堤(消波工無)</td><td>0.9</td></tr> <tr><td>鋼製函式直立堤(消波工有)</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>鋼製函式混成堤(消波工無)</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>鋼製函式混成堤(消波工有)</td><td>1.2</td></tr> </tbody> </table>	業務区分	直接人件費					摘 要	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	設計計画	0.6	0.7					設計図作成				1.2	1.2	平面図、縦断面図、標準断面図、取付等の詳細図等	数量計算				1.4	1.4	計算図(横断面図等)を含む	概算工事費算出			1.0	2.0	4.0	【DHE47001】	報告書作成			0.4	0.4			照 査		0.6	0.6				計	0.6	1.3	2.0	5.0	6.6		施設区分	構造形式	係数	護岸等	直立堤(消波工無)	0.7	直立堤(消波工有)	0.9	直立堤(直立消波・スリット式・多孔式ケーソン構造)	1.0	混成堤(消波工無)	0.9	混成堤(消波工有)	1.1	混成堤(直立消波・スリット式・多孔式ケーソン構造)	1.2	矢板・セル構造(消波工無)	1.1	矢板・セル構造(消波工有)	1.3	鋼製函式直立堤(消波工無)	0.9	鋼製函式直立堤(消波工有)	1.0	鋼製函式混成堤(消波工無)	1.0
業務区分	直接人件費					摘 要																																																																																																																																																																							
	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員																																																																																																																																																																								
設計計画	0.6	0.7																																																																																																																																																																											
設計図作成				1.2	1.2	平面図、縦断面図、標準断面図、取付等の詳細図等																																																																																																																																																																							
数量計算				1.4	1.4	計算図(横断面図等)を含む																																																																																																																																																																							
報告書作成			0.4	0.4																																																																																																																																																																									
照 査		0.6	0.6																																																																																																																																																																										
計	0.6	1.3	1.0	3.0	2.6																																																																																																																																																																								
施設区分	構 造 形 式	係 数																																																																																																																																																																											
護岸等	直立堤(消波工無)	0.7																																																																																																																																																																											
	直立堤(消波工有)	0.9																																																																																																																																																																											
	直立堤(直立消波・スリット式・多孔式ケーソン構造)	1.0																																																																																																																																																																											
	混成堤(消波工無)	0.9																																																																																																																																																																											
	混成堤(消波工有)	1.1																																																																																																																																																																											
	混成堤(直立消波・スリット式・多孔式ケーソン構造)	1.2																																																																																																																																																																											
	矢板・セル構造(消波工無)	1.1																																																																																																																																																																											
	矢板・セル構造(消波工有)	1.3																																																																																																																																																																											
	鋼製函式直立堤(消波工無)	0.9																																																																																																																																																																											
	鋼製函式直立堤(消波工有)	1.0																																																																																																																																																																											
	鋼製函式混成堤(消波工無)	1.0																																																																																																																																																																											
	鋼製函式混成堤(消波工有)	1.2																																																																																																																																																																											
	業務区分	直接人件費					摘 要																																																																																																																																																																						
		主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員																																																																																																																																																																							
	設計計画	0.6	0.7																																																																																																																																																																										
設計図作成				1.2	1.2	平面図、縦断面図、標準断面図、取付等の詳細図等																																																																																																																																																																							
数量計算				1.4	1.4	計算図(横断面図等)を含む																																																																																																																																																																							
概算工事費算出			1.0	2.0	4.0	【DHE47001】																																																																																																																																																																							
報告書作成			0.4	0.4																																																																																																																																																																									
照 査		0.6	0.6																																																																																																																																																																										
計	0.6	1.3	2.0	5.0	6.6																																																																																																																																																																								
施設区分	構造形式	係数																																																																																																																																																																											
護岸等	直立堤(消波工無)	0.7																																																																																																																																																																											
	直立堤(消波工有)	0.9																																																																																																																																																																											
	直立堤(直立消波・スリット式・多孔式ケーソン構造)	1.0																																																																																																																																																																											
	混成堤(消波工無)	0.9																																																																																																																																																																											
	混成堤(消波工有)	1.1																																																																																																																																																																											
	混成堤(直立消波・スリット式・多孔式ケーソン構造)	1.2																																																																																																																																																																											
	矢板・セル構造(消波工無)	1.1																																																																																																																																																																											
	矢板・セル構造(消波工有)	1.3																																																																																																																																																																											
	鋼製函式直立堤(消波工無)	0.9																																																																																																																																																																											
	鋼製函式直立堤(消波工有)	1.0																																																																																																																																																																											
	鋼製函式混成堤(消波工無)	1.0																																																																																																																																																																											
	鋼製函式混成堤(消波工有)	1.2																																																																																																																																																																											

# 漁港関係工事積算基準 の 改定・追加・訂正

適用年月日  
(令和5年(2023年)4月1日以降積算基準日適用)

区分	ページ	現 行	改 定	備 考																																																																																																																																																							
第2部 漁港関係工 事積算基準 標準歩掛  第4章 業務委託の 施工歩掛  1400 設計業務 積算基準	設計-37  運用資料-5 実施設計  3 岸壁・物揚場 実施設計	3 岸壁・物揚場実施設計 3-1 適用範囲 漁港関係工事の岸壁・物揚場に係る実施設計業務に適用する。 3-2 作業区分 1-2 防波堤実施設計の作業区分を参照 3-3 標準歩掛 岸壁・物揚場実施設計 (1施設当たり) 【DHE52501～DHE52505】	3 岸壁・物揚場実施設計 3-1 適用範囲 漁港関係工事の岸壁・物揚場に係る実施設計業務に適用する。 3-2 作業区分 1-2 防波堤実施設計の作業区分を参照 3-3 標準歩掛 岸壁・物揚場実施設計 (1施設当たり) 【DHE52501～DHE52505】	「概算工事費 算出」の追加																																																																																																																																																							
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">業務区分</th> <th colspan="5">職 種</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>主任技師</th> <th>技師(A)</th> <th>技師(B)</th> <th>技師(C)</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計計画</td> <td>0.6</td> <td>0.7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設計図作成</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.2</td> <td>1.2</td> <td>平面図、縦断面図、標準断面図、取付等の詳細図等</td> </tr> <tr> <td>数量計算</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.4</td> <td>1.4</td> <td>計算図(横断面図等)を含む</td> </tr> <tr> <td>報告書作成</td> <td></td> <td></td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td></td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0.6</td> <td>1.3</td> <td>1.0</td> <td>3.0</td> <td>2.6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1.本歩掛は施設別に適用する。但し、船揚場袖護岸及び撤去施設(消波ブロック除去含む)の箇所は1施設とみなすことができる。                      2.本歩掛は設計の内容に応じ、3-4に示す方法により補正する。(設計図作成、数量計算以外は、補正係数(1)のみ)</p> <p>3-4 標準歩掛の補正                      次に示す(1)、(2)、(3)、(4)、(5)に該当する係数を次式に代入して得た補正率を基準歩掛の職種別歩掛の計に乗じて補正する。                      補正率=(1)×(2)×(3)+(4)+(5)                      補正率は、小数2位を四捨五入し、小数1位止めとする。</p> <p>(1)構造形式によって決まる係数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>施設区分</th> <th>構 造 形 式</th> <th>係 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">係留施設</td> <td>直立堤</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>直立堤(直立消波・スリット式・多孔式ケーソン構造)</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">岸 壁</td> <td>混成堤</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td>混成堤(直立消波・スリット式・多孔式ケーソン構造)</td> <td>1.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">物揚場</td> <td>矢板・セル構造</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>棧橋・積棧橋(護岸は含まない)</td> <td>1.4</td> </tr> </tbody> </table>	業務区分	職 種					備 考	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	設計計画	0.6	0.7					設計図作成				1.2	1.2	平面図、縦断面図、標準断面図、取付等の詳細図等	数量計算				1.4	1.4	計算図(横断面図等)を含む	報告書作成			0.4	0.4			照 査		0.6	0.6				計	0.6	1.3	1.0	3.0	2.6		施設区分	構 造 形 式	係 数	係留施設	直立堤	0.9	直立堤(直立消波・スリット式・多孔式ケーソン構造)	1.1	岸 壁	混成堤	1.1	混成堤(直立消波・スリット式・多孔式ケーソン構造)	1.3	物揚場	矢板・セル構造	1.2	棧橋・積棧橋(護岸は含まない)	1.4	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">業務区分</th> <th colspan="5">職 種</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>主任技師</th> <th>技師(A)</th> <th>技師(B)</th> <th>技師(C)</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計計画</td> <td>0.6</td> <td>0.7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設計図作成</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.2</td> <td>1.2</td> <td>平面図、縦断面図、標準断面図、取付等の詳細図等</td> </tr> <tr> <td>数量計算</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.4</td> <td>1.4</td> <td>計算図(横断面図等)を含む</td> </tr> <tr> <td>概算工事費算出</td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td>4.0</td> <td>【DHE42001】</td> </tr> <tr> <td>報告書作成</td> <td></td> <td></td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td></td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0.6</td> <td>1.3</td> <td>2.0</td> <td>5.0</td> <td>6.6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1.本歩掛は施設別に適用する。但し、船揚場袖護岸及び撤去施設(消波ブロック除去含む)の箇所は1施設とみなすことができる。                      2.本歩掛は設計の内容に応じ、3-4に示す方法により補正する。(概算工事費算出は補正しない。設計計画、報告書作成、照査は、補正係数(1)のみ)</p> <p>3-4 標準歩掛の補正                      次に示す(1)、(2)、(3)、(4)、(5)に該当する係数を次式に代入して得た補正率を基準歩掛の職種別歩掛の計に乗じて補正する。                      補正率=(1)×(2)×(3)+(4)+(5)                      補正率は、小数2位を四捨五入し、小数1位止めとする。</p> <p>(1)構造形式によって決まる係数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>施設区分</th> <th>構 造 形 式</th> <th>係 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">係留施設</td> <td>直立堤</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>直立堤(直立消波・スリット式・多孔式ケーソン構造)</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">岸 壁</td> <td>混成堤</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td>混成堤(直立消波・スリット式・多孔式ケーソン構造)</td> <td>1.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">物揚場</td> <td>矢板・セル構造</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>棧橋・積棧橋(護岸は含まない)</td> <td>1.4</td> </tr> </tbody> </table>	業務区分	職 種					備 考	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	設計計画	0.6	0.7					設計図作成				1.2	1.2	平面図、縦断面図、標準断面図、取付等の詳細図等	数量計算				1.4	1.4	計算図(横断面図等)を含む	概算工事費算出			1.0	2.0	4.0	【DHE42001】	報告書作成			0.4	0.4			照 査		0.6	0.6				計	0.6	1.3	2.0	5.0	6.6		施設区分	構 造 形 式	係 数	係留施設	直立堤	0.9	直立堤(直立消波・スリット式・多孔式ケーソン構造)	1.1	岸 壁	混成堤	1.1	混成堤(直立消波・スリット式・多孔式ケーソン構造)	1.3	物揚場	矢板・セル構造	1.2	棧橋・積棧橋(護岸は含まない)	1.4	
業務区分	職 種					備 考																																																																																																																																																					
	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員																																																																																																																																																						
設計計画	0.6	0.7																																																																																																																																																									
設計図作成				1.2	1.2	平面図、縦断面図、標準断面図、取付等の詳細図等																																																																																																																																																					
数量計算				1.4	1.4	計算図(横断面図等)を含む																																																																																																																																																					
報告書作成			0.4	0.4																																																																																																																																																							
照 査		0.6	0.6																																																																																																																																																								
計	0.6	1.3	1.0	3.0	2.6																																																																																																																																																						
施設区分	構 造 形 式	係 数																																																																																																																																																									
係留施設	直立堤	0.9																																																																																																																																																									
	直立堤(直立消波・スリット式・多孔式ケーソン構造)	1.1																																																																																																																																																									
岸 壁	混成堤	1.1																																																																																																																																																									
	混成堤(直立消波・スリット式・多孔式ケーソン構造)	1.3																																																																																																																																																									
物揚場	矢板・セル構造	1.2																																																																																																																																																									
	棧橋・積棧橋(護岸は含まない)	1.4																																																																																																																																																									
業務区分	職 種					備 考																																																																																																																																																					
	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員																																																																																																																																																						
設計計画	0.6	0.7																																																																																																																																																									
設計図作成				1.2	1.2	平面図、縦断面図、標準断面図、取付等の詳細図等																																																																																																																																																					
数量計算				1.4	1.4	計算図(横断面図等)を含む																																																																																																																																																					
概算工事費算出			1.0	2.0	4.0	【DHE42001】																																																																																																																																																					
報告書作成			0.4	0.4																																																																																																																																																							
照 査		0.6	0.6																																																																																																																																																								
計	0.6	1.3	2.0	5.0	6.6																																																																																																																																																						
施設区分	構 造 形 式	係 数																																																																																																																																																									
係留施設	直立堤	0.9																																																																																																																																																									
	直立堤(直立消波・スリット式・多孔式ケーソン構造)	1.1																																																																																																																																																									
岸 壁	混成堤	1.1																																																																																																																																																									
	混成堤(直立消波・スリット式・多孔式ケーソン構造)	1.3																																																																																																																																																									
物揚場	矢板・セル構造	1.2																																																																																																																																																									
	棧橋・積棧橋(護岸は含まない)	1.4																																																																																																																																																									
		設計-37	設計-37																																																																																																																																																								

# 漁港関係工事積算基準 の 改定・追加・訂正

適用年月日  
(令和5年(2023年)4月1日以降積算基準日適用)

区分	ページ	現 行	改 定	備 考																																																																																																																																											
第2部 漁港関係工 事積算基準 標準歩掛  第4章 業務委託の 施工歩掛  1400 設計業務 積算基準	設計-39  運用資料-5 実施設計  4 船揚場 実施設計	4 船揚場実施設計 4-1 適用範囲 本歩掛は、漁港関係工事の船揚場の実施設計業務に適用する。  4-2 作業区分 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">名 称</th> <th style="width: 85%;">業 務 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計計画</td> <td>設計にあたり、事前に業務の目的・内容を把握し業務の手順及び遂行に必要な計画を立案する。 また、業務内容を確認の上、①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画⑤打合せ計画、⑥成果品の内容、部数、⑦使用する主な図書及び基準、⑧連絡体制(緊急時を含む)、⑨照査計画、⑩その他、について記載した業務計画書を作成する。</td> </tr> <tr> <td>設計図作成</td> <td>平面図、縦断面図、標準断面図、横断面図、構造詳細図(詳細図)等を作成する。</td> </tr> <tr> <td>数量計算</td> <td>土木工事工種体系化の手引き及び数量算出要領に基づき、工種種別、細目、規格、積算案件別に数量を算出し、数量計算書に算出根拠及び算出結果を記載する。</td> </tr> <tr> <td>報告書作成</td> <td>業務の成果として、設計図面、数量計算書に準じて作成する。</td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td>下記に示す事項を標準として照査を行う。 ①実施設計図面および数量計算書について適切性・整合性の照査を行う。</td> </tr> </tbody> </table> 4-3 標準歩掛 船揚場実施設計(1施設当たり) 【DHE53001～DHE53005】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">業務区分</th> <th colspan="5">職 種</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>主任技師</th> <th>技師(A)</th> <th>技師(B)</th> <th>技師(C)</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計計画</td> <td>0.6</td> <td>0.7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設計図作成</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.2</td> <td>1.2</td> <td>平面図、縦断面図、標準断面図、取付等の詳細図等</td> </tr> <tr> <td>数量計算</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.4</td> <td>1.4</td> <td>計算図(横断面図等)を含む</td> </tr> <tr> <td>報告書作成</td> <td></td> <td></td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td></td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0.6</td> <td>1.3</td> <td>1.0</td> <td>3.0</td> <td>2.6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1.本歩掛は施設別に適用する。但し、船揚場袖護岸及び撤去施設(消波ブロック除去含む)の箇所は1施設とみなすことができる。 2.本歩掛は設計の内容に応じ、4-4に示す方法により補正する。(設計図作成、数量計算以外は、補正係数(1)のみ)</p> <p style="text-align: center;">設計-39</p>	名 称	業 務 内 容	設計計画	設計にあたり、事前に業務の目的・内容を把握し業務の手順及び遂行に必要な計画を立案する。 また、業務内容を確認の上、①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画⑤打合せ計画、⑥成果品の内容、部数、⑦使用する主な図書及び基準、⑧連絡体制(緊急時を含む)、⑨照査計画、⑩その他、について記載した業務計画書を作成する。	設計図作成	平面図、縦断面図、標準断面図、横断面図、構造詳細図(詳細図)等を作成する。	数量計算	土木工事工種体系化の手引き及び数量算出要領に基づき、工種種別、細目、規格、積算案件別に数量を算出し、数量計算書に算出根拠及び算出結果を記載する。	報告書作成	業務の成果として、設計図面、数量計算書に準じて作成する。	照 査	下記に示す事項を標準として照査を行う。 ①実施設計図面および数量計算書について適切性・整合性の照査を行う。	業務区分	職 種					摘 要	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	設計計画	0.6	0.7					設計図作成				1.2	1.2	平面図、縦断面図、標準断面図、取付等の詳細図等	数量計算				1.4	1.4	計算図(横断面図等)を含む	報告書作成			0.4	0.4			照 査		0.6	0.6				計	0.6	1.3	1.0	3.0	2.6		4 船揚場実施設計 4-1 適用範囲 本歩掛は、漁港関係工事の船揚場の実施設計業務に適用する。  4-2 作業区分 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">名 称</th> <th style="width: 85%;">業 務 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計計画</td> <td>設計にあたり、事前に業務の目的・内容を把握し業務の手順及び遂行に必要な計画を立案する。 また、業務内容を確認の上、①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画⑤打合せ計画、⑥成果品の内容、部数、⑦使用する主な図書及び基準、⑧連絡体制(緊急時を含む)、⑨照査計画、⑩その他、について記載した業務計画書を作成する。</td> </tr> <tr> <td>設計図作成</td> <td>平面図、縦断面図、標準断面図、横断面図、構造詳細図(詳細図)等を作成する。</td> </tr> <tr> <td>数量計算</td> <td>工種体系化の手引き及び数量算出要領に基づき、工種種別、細目、規格、積算案件別に数量を算出し、数量計算書に算出根拠及び算出結果を記載する。   <del>概算工事費算出</del> <span style="color: red;">作成された設計図や数量調査等から概算工事費を算出する。</span></td> </tr> <tr> <td>報告書作成</td> <td>業務の成果として、設計図面、数量計算書に準じて作成する。</td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td>下記に示す事項を標準として照査を行う。 ①実施設計図面および数量計算書について適切性・整合性の照査を行う。</td> </tr> </tbody> </table> 4-3 標準歩掛 船揚場実施設計(1施設当たり) 【DHE53001～DHE53005】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">業務区分</th> <th colspan="5">職 種</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>主任技師</th> <th>技師(A)</th> <th>技師(B)</th> <th>技師(C)</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計計画</td> <td>0.6</td> <td>0.7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設計図作成</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.2</td> <td>1.2</td> <td>平面図、縦断面図、標準断面図、取付等の詳細図等</td> </tr> <tr> <td>数量計算</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.4</td> <td>1.4</td> <td>計算図(横断面図等)を含む</td> </tr> <tr> <td><del>概算工事費算出</del></td> <td></td> <td></td> <td style="color: red;">1.0</td> <td style="color: red;">2.0</td> <td style="color: red;">4.0</td> <td style="color: red;">【DHE47001】</td> </tr> <tr> <td>報告書作成</td> <td></td> <td></td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td></td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0.6</td> <td>1.3</td> <td style="color: red;">2.0</td> <td style="color: red;">5.0</td> <td style="color: red;">6.6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1.本歩掛は施設別に適用する。但し、船揚場袖護岸及び撤去施設(消波ブロック除去含む)の箇所は1施設とみなすことができる。 2.本歩掛は設計の内容に応じ、4-4に示す方法により補正する。 (<del>概算工事費算出は補正しない。</del>設計計画、報告書作成、照査は、補正係数(1)のみ)</p> <p style="text-align: center;">設計-39</p>	名 称	業 務 内 容	設計計画	設計にあたり、事前に業務の目的・内容を把握し業務の手順及び遂行に必要な計画を立案する。 また、業務内容を確認の上、①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画⑤打合せ計画、⑥成果品の内容、部数、⑦使用する主な図書及び基準、⑧連絡体制(緊急時を含む)、⑨照査計画、⑩その他、について記載した業務計画書を作成する。	設計図作成	平面図、縦断面図、標準断面図、横断面図、構造詳細図(詳細図)等を作成する。	数量計算	工種体系化の手引き及び数量算出要領に基づき、工種種別、細目、規格、積算案件別に数量を算出し、数量計算書に算出根拠及び算出結果を記載する。  <del>概算工事費算出</del> <span style="color: red;">作成された設計図や数量調査等から概算工事費を算出する。</span>	報告書作成	業務の成果として、設計図面、数量計算書に準じて作成する。	照 査	下記に示す事項を標準として照査を行う。 ①実施設計図面および数量計算書について適切性・整合性の照査を行う。	業務区分	職 種					摘 要	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	設計計画	0.6	0.7					設計図作成				1.2	1.2	平面図、縦断面図、標準断面図、取付等の詳細図等	数量計算				1.4	1.4	計算図(横断面図等)を含む	<del>概算工事費算出</del>			1.0	2.0	4.0	【DHE47001】	報告書作成			0.4	0.4			照 査		0.6	0.6				計	0.6	1.3	2.0	5.0	6.6		参照先修正 (土木+漁港)  「概算工事費算出」の追加
名 称	業 務 内 容																																																																																																																																														
設計計画	設計にあたり、事前に業務の目的・内容を把握し業務の手順及び遂行に必要な計画を立案する。 また、業務内容を確認の上、①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画⑤打合せ計画、⑥成果品の内容、部数、⑦使用する主な図書及び基準、⑧連絡体制(緊急時を含む)、⑨照査計画、⑩その他、について記載した業務計画書を作成する。																																																																																																																																														
設計図作成	平面図、縦断面図、標準断面図、横断面図、構造詳細図(詳細図)等を作成する。																																																																																																																																														
数量計算	土木工事工種体系化の手引き及び数量算出要領に基づき、工種種別、細目、規格、積算案件別に数量を算出し、数量計算書に算出根拠及び算出結果を記載する。																																																																																																																																														
報告書作成	業務の成果として、設計図面、数量計算書に準じて作成する。																																																																																																																																														
照 査	下記に示す事項を標準として照査を行う。 ①実施設計図面および数量計算書について適切性・整合性の照査を行う。																																																																																																																																														
業務区分	職 種					摘 要																																																																																																																																									
	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員																																																																																																																																										
設計計画	0.6	0.7																																																																																																																																													
設計図作成				1.2	1.2	平面図、縦断面図、標準断面図、取付等の詳細図等																																																																																																																																									
数量計算				1.4	1.4	計算図(横断面図等)を含む																																																																																																																																									
報告書作成			0.4	0.4																																																																																																																																											
照 査		0.6	0.6																																																																																																																																												
計	0.6	1.3	1.0	3.0	2.6																																																																																																																																										
名 称	業 務 内 容																																																																																																																																														
設計計画	設計にあたり、事前に業務の目的・内容を把握し業務の手順及び遂行に必要な計画を立案する。 また、業務内容を確認の上、①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画⑤打合せ計画、⑥成果品の内容、部数、⑦使用する主な図書及び基準、⑧連絡体制(緊急時を含む)、⑨照査計画、⑩その他、について記載した業務計画書を作成する。																																																																																																																																														
設計図作成	平面図、縦断面図、標準断面図、横断面図、構造詳細図(詳細図)等を作成する。																																																																																																																																														
数量計算	工種体系化の手引き及び数量算出要領に基づき、工種種別、細目、規格、積算案件別に数量を算出し、数量計算書に算出根拠及び算出結果を記載する。  <del>概算工事費算出</del> <span style="color: red;">作成された設計図や数量調査等から概算工事費を算出する。</span>																																																																																																																																														
報告書作成	業務の成果として、設計図面、数量計算書に準じて作成する。																																																																																																																																														
照 査	下記に示す事項を標準として照査を行う。 ①実施設計図面および数量計算書について適切性・整合性の照査を行う。																																																																																																																																														
業務区分	職 種					摘 要																																																																																																																																									
	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員																																																																																																																																										
設計計画	0.6	0.7																																																																																																																																													
設計図作成				1.2	1.2	平面図、縦断面図、標準断面図、取付等の詳細図等																																																																																																																																									
数量計算				1.4	1.4	計算図(横断面図等)を含む																																																																																																																																									
<del>概算工事費算出</del>			1.0	2.0	4.0	【DHE47001】																																																																																																																																									
報告書作成			0.4	0.4																																																																																																																																											
照 査		0.6	0.6																																																																																																																																												
計	0.6	1.3	2.0	5.0	6.6																																																																																																																																										

# 漁港関係工事積算基準 の 改定・追加・訂正

適用年月日  
(令和5年(2023年)4月1日以降積算基準日適用)

区分	ページ	現 行	改 定	備 考																																																																																																																																													
第2部 漁港関係工 事積算基準 標準歩掛  第4章 業務委託の 施工歩掛  1400 設計業務 積算基準	設計-41  運用資料-5 実施設計  5 航路・泊地 実施設計	5 航路・泊地実施設計 5-1 適用範囲 本歩掛は、漁港関係工事の航路・泊地の実施設計業務に適用する。 5-2 作業区分 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">名 称</th> <th style="width: 85%;">業 務 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計計画</td> <td>設計にあたり、事前に業務の目的・内容を把握し業務の手順及び逆行に必要な計画を立案する。 また、業務内容を確認の上、①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画⑤打合せ計画、⑥成果品の内容、部数、⑦使用する主な図書及び基準、⑧連絡体制(緊急時を含む)、⑨照査計画、⑩その他、について記載した業務計画書を作成する。</td> </tr> <tr> <td>設計図作成</td> <td>平面図、縦断面図、標準断面図、横断面図、構造詳細図(詳細図)等を作成する。</td> </tr> <tr> <td>数量計算</td> <td>土木工事種体系化の手引き及び数量算出要領に基づき、工種種別、細目、規格、積算案件別に数量を算出し、数量計算書に算出根拠及び算出結果を記載する。</td> </tr> <tr> <td>報告書作成</td> <td>業務の成果として、設計図面、数量計算書に準じて作成する。</td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td>下記に示す事項を標準として照査を行う。 ①実施設計図面および数量計算書の適切性・整合性について照査を行う。</td> </tr> </tbody> </table> 5-3 標準歩掛 航路・泊地実施設計 (1施設当たり) 【DHE53501～DHE53505】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">業務区分</th> <th colspan="5">職 種</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>主任技師</th> <th>技師(A)</th> <th>技師(B)</th> <th>技師(C)</th> <th>技 術 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計計画</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設計図作成</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.2</td> <td>1.2</td> <td>平面図(深淺を含む) 標準断面図</td> </tr> <tr> <td>数量計算</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.2</td> <td>1.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>報告書作成</td> <td></td> <td></td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td></td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0.6</td> <td>1.2</td> <td>1.0</td> <td>2.8</td> <td>2.4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 注) 1.本歩掛は施設別に適用する。 2.本歩掛は設計の内容に応じ、5-4に示す方法により補正する。 (設計図作成、数量計算以外は、補正係数(1)のみ)	名 称	業 務 内 容	設計計画	設計にあたり、事前に業務の目的・内容を把握し業務の手順及び逆行に必要な計画を立案する。 また、業務内容を確認の上、①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画⑤打合せ計画、⑥成果品の内容、部数、⑦使用する主な図書及び基準、⑧連絡体制(緊急時を含む)、⑨照査計画、⑩その他、について記載した業務計画書を作成する。	設計図作成	平面図、縦断面図、標準断面図、横断面図、構造詳細図(詳細図)等を作成する。	数量計算	土木工事種体系化の手引き及び数量算出要領に基づき、工種種別、細目、規格、積算案件別に数量を算出し、数量計算書に算出根拠及び算出結果を記載する。	報告書作成	業務の成果として、設計図面、数量計算書に準じて作成する。	照 査	下記に示す事項を標準として照査を行う。 ①実施設計図面および数量計算書の適切性・整合性について照査を行う。	業務区分	職 種					摘 要	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技 術 員	設計計画	0.6	0.6					設計図作成				1.2	1.2	平面図(深淺を含む) 標準断面図	数量計算				1.2	1.2		報告書作成			0.4	0.4			照 査		0.6	0.6				計	0.6	1.2	1.0	2.8	2.4		5 航路・泊地実施設計 5-1 適用範囲 本歩掛は、漁港関係工事の航路・泊地の実施設計業務に適用する。 5-2 作業区分 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">名 称</th> <th style="width: 85%;">業 務 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計計画</td> <td>設計にあたり、事前に業務の目的・内容を把握し業務の手順及び逆行に必要な計画を立案する。 また、業務内容を確認の上、①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画⑤打合せ計画、⑥成果品の内容、部数、⑦使用する主な図書及び基準、⑧連絡体制(緊急時を含む)、⑨照査計画、⑩その他、について記載した業務計画書を作成する。</td> </tr> <tr> <td>設計図作成</td> <td>平面図、縦断面図、標準断面図、横断面図、構造詳細図(詳細図)等を作成する。</td> </tr> <tr> <td>数量計算</td> <td>工種体系化の手引き及び数量算出要領に基づき、工種種別、細目、規格、積算案件別に数量を算出し、数量計算書に算出根拠及び算出結果を記載する。</td> </tr> <tr> <td>概算工事費算出</td> <td>作成された設計図や数量調査等から概算工事費を算出する。</td> </tr> <tr> <td>報告書作成</td> <td>業務の成果として、設計図面、数量計算書に準じて作成する。</td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td>下記に示す事項を標準として照査を行う。 ①実施設計図面および数量計算書の適切性・整合性について照査を行う。</td> </tr> </tbody> </table> 5-3 標準歩掛 航路・泊地実施設計 (1施設当たり) 【DHE53501～DHE53505】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">業務区分</th> <th colspan="5">職 種</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>主任技師</th> <th>技師(A)</th> <th>技師(B)</th> <th>技師(C)</th> <th>技 術 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計計画</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設計図作成</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.2</td> <td>1.2</td> <td>平面図(深淺を含む) 標準断面図</td> </tr> <tr> <td>数量計算</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.2</td> <td>1.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>概算工事費算出</td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td>4.0</td> <td>【DHE47001】</td> </tr> <tr> <td>報告書作成</td> <td></td> <td></td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td></td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0.6</td> <td>1.2</td> <td>2.0</td> <td>4.8</td> <td>6.4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 注) 1.本歩掛は施設別に適用する。 2.本歩掛は設計の内容に応じ、5-4に示す方法により補正する。 (概算工事費算出は補正しない。設計計画、報告書作成、照査は、補正係数(1)のみ)	名 称	業 務 内 容	設計計画	設計にあたり、事前に業務の目的・内容を把握し業務の手順及び逆行に必要な計画を立案する。 また、業務内容を確認の上、①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画⑤打合せ計画、⑥成果品の内容、部数、⑦使用する主な図書及び基準、⑧連絡体制(緊急時を含む)、⑨照査計画、⑩その他、について記載した業務計画書を作成する。	設計図作成	平面図、縦断面図、標準断面図、横断面図、構造詳細図(詳細図)等を作成する。	数量計算	工種体系化の手引き及び数量算出要領に基づき、工種種別、細目、規格、積算案件別に数量を算出し、数量計算書に算出根拠及び算出結果を記載する。	概算工事費算出	作成された設計図や数量調査等から概算工事費を算出する。	報告書作成	業務の成果として、設計図面、数量計算書に準じて作成する。	照 査	下記に示す事項を標準として照査を行う。 ①実施設計図面および数量計算書の適切性・整合性について照査を行う。	業務区分	職 種					摘 要	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技 術 員	設計計画	0.6	0.6					設計図作成				1.2	1.2	平面図(深淺を含む) 標準断面図	数量計算				1.2	1.2		概算工事費算出			1.0	2.0	4.0	【DHE47001】	報告書作成			0.4	0.4			照 査		0.6	0.6				計	0.6	1.2	2.0	4.8	6.4		参照先修正 (土木+漁港)  「概算工事費 算出」の追加
名 称	業 務 内 容																																																																																																																																																
設計計画	設計にあたり、事前に業務の目的・内容を把握し業務の手順及び逆行に必要な計画を立案する。 また、業務内容を確認の上、①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画⑤打合せ計画、⑥成果品の内容、部数、⑦使用する主な図書及び基準、⑧連絡体制(緊急時を含む)、⑨照査計画、⑩その他、について記載した業務計画書を作成する。																																																																																																																																																
設計図作成	平面図、縦断面図、標準断面図、横断面図、構造詳細図(詳細図)等を作成する。																																																																																																																																																
数量計算	土木工事種体系化の手引き及び数量算出要領に基づき、工種種別、細目、規格、積算案件別に数量を算出し、数量計算書に算出根拠及び算出結果を記載する。																																																																																																																																																
報告書作成	業務の成果として、設計図面、数量計算書に準じて作成する。																																																																																																																																																
照 査	下記に示す事項を標準として照査を行う。 ①実施設計図面および数量計算書の適切性・整合性について照査を行う。																																																																																																																																																
業務区分	職 種					摘 要																																																																																																																																											
	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技 術 員																																																																																																																																												
設計計画	0.6	0.6																																																																																																																																															
設計図作成				1.2	1.2	平面図(深淺を含む) 標準断面図																																																																																																																																											
数量計算				1.2	1.2																																																																																																																																												
報告書作成			0.4	0.4																																																																																																																																													
照 査		0.6	0.6																																																																																																																																														
計	0.6	1.2	1.0	2.8	2.4																																																																																																																																												
名 称	業 務 内 容																																																																																																																																																
設計計画	設計にあたり、事前に業務の目的・内容を把握し業務の手順及び逆行に必要な計画を立案する。 また、業務内容を確認の上、①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画⑤打合せ計画、⑥成果品の内容、部数、⑦使用する主な図書及び基準、⑧連絡体制(緊急時を含む)、⑨照査計画、⑩その他、について記載した業務計画書を作成する。																																																																																																																																																
設計図作成	平面図、縦断面図、標準断面図、横断面図、構造詳細図(詳細図)等を作成する。																																																																																																																																																
数量計算	工種体系化の手引き及び数量算出要領に基づき、工種種別、細目、規格、積算案件別に数量を算出し、数量計算書に算出根拠及び算出結果を記載する。																																																																																																																																																
概算工事費算出	作成された設計図や数量調査等から概算工事費を算出する。																																																																																																																																																
報告書作成	業務の成果として、設計図面、数量計算書に準じて作成する。																																																																																																																																																
照 査	下記に示す事項を標準として照査を行う。 ①実施設計図面および数量計算書の適切性・整合性について照査を行う。																																																																																																																																																
業務区分	職 種					摘 要																																																																																																																																											
	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技 術 員																																																																																																																																												
設計計画	0.6	0.6																																																																																																																																															
設計図作成				1.2	1.2	平面図(深淺を含む) 標準断面図																																																																																																																																											
数量計算				1.2	1.2																																																																																																																																												
概算工事費算出			1.0	2.0	4.0	【DHE47001】																																																																																																																																											
報告書作成			0.4	0.4																																																																																																																																													
照 査		0.6	0.6																																																																																																																																														
計	0.6	1.2	2.0	4.8	6.4																																																																																																																																												
		設計-41	設計-41																																																																																																																																														

# 漁港関係工事積算基準 の 改定・追加・訂正

適用年月日  
(令和5年(2023年)4月1日以降積算基準日適用)

区分	ページ	現 行	改 定	備 考																																																																																																																																																												
第2部 漁港関係工事積算基準 標準歩掛  第4章 業務委託の 施工歩掛  1400 設計業務 積算基準	設計-43  運用資料-5 実施設計  6 用地 実施設計	6 用地実施設計 6-1 適用範囲 本歩掛は、漁港関係工事の施設用地の実施設計業務に適用する。 6-2 作業区分 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">名 称</th> <th style="width: 85%;">業 務 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計計画</td> <td>設計にあたり、事前に業務の目的・内容を把握し業務の手順及び遂行に必要な計画を立案する。 また、業務内容を確認の上、①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画⑤打合せ計画、⑥成果品の内容、部数、⑦使用する主な図書及び基準、⑧連絡体制(緊急時を含む)、⑨照査計画、⑩その他、について記載した業務計画書を作成する。</td> </tr> <tr> <td>設計図作成</td> <td>平面図、縦断面、標準断面図、横断面、構造詳細図(詳細図)等を作成する。</td> </tr> <tr> <td>数量計算</td> <td>土木工事種体系化の手引き及び数量算出要領に基づき、工種種別、細目、規格、積算条件別に数量を算出し、数量計算書に算出根拠及び算出結果を記載する。</td> </tr> <tr> <td>報告書作成</td> <td>業務の成果として、設計図面、数量計算書に準じて作成する。</td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td>下記に示す事項を標準として照査を行う。 ①実施設計図面および数量計算書の適切性・整合性について照査を行う。</td> </tr> </tbody> </table> 6-3 標準歩掛 用地実施設計 (1施設当たり) 【DHE55001 ~ DHE55005】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 10%;">職 種</th> <th colspan="5">直 接 人 件 費</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th style="width: 10%;">主任技師</th> <th style="width: 10%;">技師(A)</th> <th style="width: 10%;">技師(B)</th> <th style="width: 10%;">技師(C)</th> <th style="width: 10%;">技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>業務区分</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設計計画</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設計図作成</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.2</td> <td>1.2</td> <td>平面図(深淺を含む) 標準断面図</td> </tr> <tr> <td>数量計算</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.2</td> <td>1.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>報告書作成</td> <td></td> <td></td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td></td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0.6</td> <td>1.2</td> <td>1.0</td> <td>2.8</td> <td>2.4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1.本歩掛は施設別に適用する。 2.本歩掛は設計の内容に応じ、6-4に示す方法により補正する。(設計図作成、数量計算以外は、補正係数(1)のみ)</p>	名 称	業 務 内 容	設計計画	設計にあたり、事前に業務の目的・内容を把握し業務の手順及び遂行に必要な計画を立案する。 また、業務内容を確認の上、①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画⑤打合せ計画、⑥成果品の内容、部数、⑦使用する主な図書及び基準、⑧連絡体制(緊急時を含む)、⑨照査計画、⑩その他、について記載した業務計画書を作成する。	設計図作成	平面図、縦断面、標準断面図、横断面、構造詳細図(詳細図)等を作成する。	数量計算	土木工事種体系化の手引き及び数量算出要領に基づき、工種種別、細目、規格、積算条件別に数量を算出し、数量計算書に算出根拠及び算出結果を記載する。	報告書作成	業務の成果として、設計図面、数量計算書に準じて作成する。	照 査	下記に示す事項を標準として照査を行う。 ①実施設計図面および数量計算書の適切性・整合性について照査を行う。	職 種	直 接 人 件 費					摘 要	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	業務区分							設計計画	0.6	0.6					設計図作成				1.2	1.2	平面図(深淺を含む) 標準断面図	数量計算				1.2	1.2		報告書作成			0.4	0.4			照 査		0.6	0.6				計	0.6	1.2	1.0	2.8	2.4		6 用地実施設計 6-1 適用範囲 本歩掛は、漁港関係工事の施設用地の実施設計業務に適用する。 6-2 作業区分 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">名 称</th> <th style="width: 85%;">業 務 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計計画</td> <td>設計にあたり、事前に業務の目的・内容を把握し業務の手順及び遂行に必要な計画を立案する。 また、業務内容を確認の上、①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画⑤打合せ計画、⑥成果品の内容、部数、⑦使用する主な図書及び基準、⑧連絡体制(緊急時を含む)、⑨照査計画、⑩その他、について記載した業務計画書を作成する。</td> </tr> <tr> <td>設計図作成</td> <td>平面図、縦断面、標準断面図、横断面、構造詳細図(詳細図)等を作成する。</td> </tr> <tr> <td>数量計算</td> <td>工種体系化の手引き及び数量算出要領に基づき、工種種別、細目、規格、積算条件別に数量を算出し、数量計算書に算出根拠及び算出結果を記載する。</td> </tr> <tr> <td>概算工事費算出</td> <td>作成された設計図や数量調査等から概算工事費を算出する。</td> </tr> <tr> <td>報告書作成</td> <td>業務の成果として、設計図面、数量計算書に準じて作成する。</td> </tr> <tr> <td>照査</td> <td>下記に示す事項を標準として照査を行う。 ①実施設計図面および数量計算書の適切性・整合性について照査を行う。</td> </tr> </tbody> </table> 6-3 標準歩掛 用地実施設計 (1施設当たり) 【DHE55001 ~ DHE55005】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 10%;">業務区分</th> <th rowspan="2" style="width: 10%;">職 種</th> <th colspan="5">直 接 人 件 費</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th style="width: 10%;">主任技師</th> <th style="width: 10%;">技師(A)</th> <th style="width: 10%;">技師(B)</th> <th style="width: 10%;">技師(C)</th> <th style="width: 10%;">技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計計画</td> <td></td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設計図作成</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.2</td> <td>1.2</td> <td>平面図(深淺を含む) 標準断面図</td> </tr> <tr> <td>数量計算</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.2</td> <td>1.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>概算工事費算出</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td>4.0</td> <td>【DHE47001】</td> </tr> <tr> <td>報告書作成</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>照査</td> <td></td> <td></td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>0.6</td> <td>1.2</td> <td>2.0</td> <td>4.8</td> <td>6.4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1.本歩掛は施設別に適用する。 2.本歩掛は設計の内容に応じ、6-4に示す方法により補正する。 (概算工事費算出は補正しない。設計計画、報告書作成、照査は、補正係数(1)のみ)</p>	名 称	業 務 内 容	設計計画	設計にあたり、事前に業務の目的・内容を把握し業務の手順及び遂行に必要な計画を立案する。 また、業務内容を確認の上、①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画⑤打合せ計画、⑥成果品の内容、部数、⑦使用する主な図書及び基準、⑧連絡体制(緊急時を含む)、⑨照査計画、⑩その他、について記載した業務計画書を作成する。	設計図作成	平面図、縦断面、標準断面図、横断面、構造詳細図(詳細図)等を作成する。	数量計算	工種体系化の手引き及び数量算出要領に基づき、工種種別、細目、規格、積算条件別に数量を算出し、数量計算書に算出根拠及び算出結果を記載する。	概算工事費算出	作成された設計図や数量調査等から概算工事費を算出する。	報告書作成	業務の成果として、設計図面、数量計算書に準じて作成する。	照査	下記に示す事項を標準として照査を行う。 ①実施設計図面および数量計算書の適切性・整合性について照査を行う。	業務区分	職 種	直 接 人 件 費					摘 要	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	設計計画		0.6	0.6					設計図作成					1.2	1.2	平面図(深淺を含む) 標準断面図	数量計算					1.2	1.2		概算工事費算出				1.0	2.0	4.0	【DHE47001】	報告書作成				0.4	0.4			照査			0.6	0.6				計		0.6	1.2	2.0	4.8	6.4		参照先修正 (土木+漁港)  「概算工事費算出」の追加
名 称	業 務 内 容																																																																																																																																																															
設計計画	設計にあたり、事前に業務の目的・内容を把握し業務の手順及び遂行に必要な計画を立案する。 また、業務内容を確認の上、①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画⑤打合せ計画、⑥成果品の内容、部数、⑦使用する主な図書及び基準、⑧連絡体制(緊急時を含む)、⑨照査計画、⑩その他、について記載した業務計画書を作成する。																																																																																																																																																															
設計図作成	平面図、縦断面、標準断面図、横断面、構造詳細図(詳細図)等を作成する。																																																																																																																																																															
数量計算	土木工事種体系化の手引き及び数量算出要領に基づき、工種種別、細目、規格、積算条件別に数量を算出し、数量計算書に算出根拠及び算出結果を記載する。																																																																																																																																																															
報告書作成	業務の成果として、設計図面、数量計算書に準じて作成する。																																																																																																																																																															
照 査	下記に示す事項を標準として照査を行う。 ①実施設計図面および数量計算書の適切性・整合性について照査を行う。																																																																																																																																																															
職 種	直 接 人 件 費					摘 要																																																																																																																																																										
	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員																																																																																																																																																											
業務区分																																																																																																																																																																
設計計画	0.6	0.6																																																																																																																																																														
設計図作成				1.2	1.2	平面図(深淺を含む) 標準断面図																																																																																																																																																										
数量計算				1.2	1.2																																																																																																																																																											
報告書作成			0.4	0.4																																																																																																																																																												
照 査		0.6	0.6																																																																																																																																																													
計	0.6	1.2	1.0	2.8	2.4																																																																																																																																																											
名 称	業 務 内 容																																																																																																																																																															
設計計画	設計にあたり、事前に業務の目的・内容を把握し業務の手順及び遂行に必要な計画を立案する。 また、業務内容を確認の上、①業務概要、②実施方針、③業務工程、④業務組織計画⑤打合せ計画、⑥成果品の内容、部数、⑦使用する主な図書及び基準、⑧連絡体制(緊急時を含む)、⑨照査計画、⑩その他、について記載した業務計画書を作成する。																																																																																																																																																															
設計図作成	平面図、縦断面、標準断面図、横断面、構造詳細図(詳細図)等を作成する。																																																																																																																																																															
数量計算	工種体系化の手引き及び数量算出要領に基づき、工種種別、細目、規格、積算条件別に数量を算出し、数量計算書に算出根拠及び算出結果を記載する。																																																																																																																																																															
概算工事費算出	作成された設計図や数量調査等から概算工事費を算出する。																																																																																																																																																															
報告書作成	業務の成果として、設計図面、数量計算書に準じて作成する。																																																																																																																																																															
照査	下記に示す事項を標準として照査を行う。 ①実施設計図面および数量計算書の適切性・整合性について照査を行う。																																																																																																																																																															
業務区分	職 種	直 接 人 件 費					摘 要																																																																																																																																																									
		主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員																																																																																																																																																										
設計計画		0.6	0.6																																																																																																																																																													
設計図作成					1.2	1.2	平面図(深淺を含む) 標準断面図																																																																																																																																																									
数量計算					1.2	1.2																																																																																																																																																										
概算工事費算出				1.0	2.0	4.0	【DHE47001】																																																																																																																																																									
報告書作成				0.4	0.4																																																																																																																																																											
照査			0.6	0.6																																																																																																																																																												
計		0.6	1.2	2.0	4.8	6.4																																																																																																																																																										
		設計-43	設計-43																																																																																																																																																													